

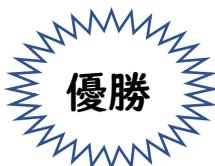
国際大会

ATF 14/U Sutama International Junior Tournament

[本戦WC選手権(2)] → [プレ予選(2)WC選手権] → [予選] → [本戦]
驚くべきポテンシャルを一気に開花させた松崎稜太郎

★国内屈指のハイレベルな大会を2週連続で決勝進出！

予選を優勝し本大会でもアジアのトップジュニアたちを抑えて優勝！



アジアテニス連盟公認の国内唯一の14歳以下国際ジュニア大会、これまで多くの日本代表選手がアジアの強豪選手と対戦すべく参加してきた。その大会の予選ですら高いハードルを超えねば出場できないというハイレベルな中、松崎稜太郎は、2つのワイルドカード(主催者推薦枠)大会とともに決勝に進出し、「本戦WC」では惜しくも決勝で敗れ本戦入りを逃したものの、続く「予選WC」で雪辱し見事本戦入りを果たした。しかしここから更なる奇跡が続く。勢いのままに予選大会も優勝するや、このアジア Jr が注目するひのき舞台でとうとう本戦大会でタイトルを手中にしまった。誰にも負けない体躯から繰り出すパワーショットで一気にそのポテンシャルを開花させた彼の今後の期待される。

本戦WC選手権(2)大会	男子シングルス	準優勝	松崎稜太郎
プレ予選(2)WC選手権大会	男子シングルス	優勝	//
予選大会	男子シングルス	優勝	//
本戦	男子シングルス	優勝	//

JOP

「千葉松原 TC 印西オープンジュニア」
 「東京高尾オープンジュニア2017」
 「千葉 MITG オープンジュニア2018」

4/15と7/16と3/21にそれぞれ行われた全国大会につながるこの3つの大会で赤松果林が高身長を生かした強力なサーブとパワーストロークで準優勝、優勝、優勝と立て続けに好成績を上げ、昨年に引き続き「TOMAS CUP JUNIOR TENNIS TOUR CHAMPIONSHIP」大会への出場権を獲得した。課題であったメンタル向上が少しずつ戦果を引き寄せてきている。大きなテニスが持ち味なので今後は十分に期待される。



◆茨城◆ 「第34回茨城県小学生大会」

4/4に牛久運動公園で行われた県内小学生最高峰のこの大会、6年5年生に混じり小学4年生のしかも小柄な清原駿介が多彩なショットと俊足を生かしたコートリカバリーの見事なテニスで4年生以下トップの7位という好成績を残した。

「ダンロップジュニアテニストーナメント in 白子」



7/1~2に千葉白子リゾートで行われたこの大会12歳以下で出場した清原駿介(10歳)は年齢離れした高度なテクニックと最後まであきらめない精神力で、2日間にわたるタフな試合を準優勝で締めくくった。

◀関東▶ 関東大会、団体優勝！

「関東中学生テニス選手権大会 2017」

茨城県で完全優勝の土浦二中はメンバーすべてが強化育成選手。関東大会においても2連覇を果たした。個人戦では小林良徳がシングルスでベスト32、松尾滉哉と組んだダブルスではベスト16という好成績を残した。



【全国】 全国大会で準優勝！

「第44回全国中学生テニス選手権大会 2017」

関東で団体優勝を果たした土浦二中は全国大会の地、沖縄では残念ながら暑さで体調を崩す選手が出て、ベスト8止まり。しかしながら個人戦では小林良徳と松尾滉哉のダブルスが準優勝という素晴らしい結果を残した。

全中個人戦
 ダブルス準優勝

左：松尾滉哉
 右：小林良徳



ATP(国際プロテニス協会)

「ATP KOREA F1 FUTURES 2017」

「ATP KOREA F2 FUTURES 2017」

土浦市テニス協会の国際交流のきっかけとなったイ ジェムン選手は、土浦市の強化育成プロジェクトで伸びた選手。高校生で日本のデ杯選手を含めたプロ選手 2 名を破り全日本選手権ベスト 16 に入るといふ大金星を挙げた後に、全豪オープンジュニア本戦入り、ユニバーシアードの金メダリストになるなど数々の偉業を成し遂げた。2017 年度は徴兵制による軍隊に籍を置きながらの大会出場ではありながら、上記大会においてダブルス優勝、シングルス準優勝。さらに韓国ナショナルチームの一員として Davis Cup 2017 (男子国別対抗戦) の団体メンバーに抜擢されたという嬉しい報告が届いた。



テニス 4 大会「全豪オープン」のジュニア大会：もっともグレードが高いこの大会の本戦には ITF ランキングが高くなければ出られない。2010 年イ ジェムンが予選から本戦に上がった時の写真

◆茨城◆ 決勝で同士討ち、藤田に軍配が上がる！

「第 43 回茨城県少年少女テニス選手権大会」

8/19～21 に笠松運動公園テニスコートにて行われた 18 歳以下のこの大会において、毎日の練習相手でもある強化育成選手同士の決勝戦となり、藤田裕暉(16:写真右)が角平明帝(17:写真左)を破り、この大会のタイトルを手中に収めた。



【全国】 押野沙穂インカレ単 4 強入り！

「全日本学生テニス選手権大会 2017」

小 3 よりテニスを始め、小 5 で本格的にテニスに踏み込み高 3 で初めてインターハイ上位に食い込んだ遅咲きの努力家、押野沙穂(慶応大学 3 年)が 8/7～13 に岐阜メモリアルセンターで行われた大学生日本 1 を決めるインカレ(インターカレッジテニス)で、シングルスで 4 強入りし、ダブルスでも準優勝という素晴らしい成績を残した。「プロになりたい」が口癖の彼女の未来に大きな追い風となる経験を積んだといえる。



◆茨城◆

「茨城県高等学校テニス新人選手権大会」

好調！ 2 大会連続の決勝進出。

9/24 に神栖海浜運動公園で行われたこの大会において角平明帝(高 2)がシングルスで待望の優勝を果たし、ダブルスにおいても 4 強に残るといふ好成績を上げた。派手さはないが安定感のあるテニスと集中力で徐々に実績を伸ばしてきた。日ごろからの地道な努力がようやくここにきて開花。「来年、インターハイ出場を目指します。」十分にねらえる位置にあるといえる。



【全国】 今なお進化し続ける異才！

「全国高校選抜テニス大会 2017」

全国 2 位！

中学まで土浦市強化育成において数々のタイトル獲得や話題を提供してきた丹下将太(現早稲田実業高校)が 8/7～13 に福岡県博多の森テニスコートで行われた「全国高校選抜」において、個人戦シングルス準優勝という報告が飛び込んできた。団体では東京代表へとチームを大黒柱として牽引し、また、都内の個人戦では複数のタイトルを手中にするなど今後の活躍に目が離せない。

